

エジプトにおける石油探鉱区の落札について

平成 17 年 6 月 27 日

帝国石油株式会社

帝国石油株式会社（本社:東京都渋谷区、社長:相岡 雅俊）は、米国 Devon Energy 社及び豪国 Santos 社と共同でエジプト・アラブ共和国の石油探鉱公開入札に参加し、スエズ湾の South October（サウス・オクトーバー）鉱区及び North Qarun（ノース・カルン）鉱区 2 鉱区の落札に成功致しました。当該鉱区に係る契約は本年 7 月下旬に調印後、正式に発効する予定であります。両鉱区の概要は以下のとおりです。

1.South October 鉱区（面積：446km²）

- (1)位 置：スエズ湾中部（首都カイロより南東に約 250km）
- (2)権益構成：Devon Energy 社 65%、当社 35%
- (3)義務作業：3 年の探鉱期間内に 3 次元地震探査(270km²)の実施、探鉱井 2 坑掘削

2.North Qarun 鉱区（面積：4,901km²）

- (1)位 置：西部砂漠（首都カイロ西部）
- (2)権益構成：Devon Energy 社 50%、Santos 社 25%、当社 25%
- (3)義務作業：3 年半の探鉱期間内に 2 次元地震探査(550km)の実施、探鉱井 2 坑掘削

当社は今後、約 3 年の間に両事業に対し約 20 億円の投資を予定しており、運営にあたっては当社全額出資による子会社を設立し、本事業を推進していく予定です。

当社は、北アフリカ及び中南米を重点地域として海外事業を展開しており、北アフリカにおいては現在アルジェリアとエジプトで事業参加しております。アルジェリアでは南東部陸域の El Ouar（エル・オアール）鉱区での石油探鉱開発事業と Ohanet（オハネット）鉱区でのガス開発事業に参加しております。

エジプトにおいては当社子会社のエジプト石油開発株式会社が 1975 年よりスエズ湾陸域において石油探鉱を開始し、1980 年より West Bakr（ウエスト・バクル）鉱区（面積：45.2km²）においてオペレータとして石油の生産を行っております。またスエズ湾の South East July（サウス・イースト・ジュライ）鉱区で Devon Energy 社及び Santos 社と探鉱事業に参加しており、事業知見の継続性が期待されます。

以上

鉱区位置図

